

平成27年 8月24日
健康部健康推進課

練馬区健康づくり総合計画（素案）に寄せられた意見と
区の考え方について

1 区民意見反映制度に基づく意見の募集

(1) 周知方法

- ・ねりま区報（6月21日号）への掲載
- ・区ホームページへの掲載
- ・区民情報ひろば、図書館、保健相談所、健康推進課での閲覧

(2) 意見の募集期間

平成27年6月21日（日）から7月10日（金）まで

2 意見の受付状況

受付方法	人数	意見件数
郵送	1名	1件
F A X	5名	9件
メール	5名	6件
持参	1名	1件
合計	12名	17件

3 寄せられた意見の内訳

項目	件数
導入部	1件
第1章 計画の基本的な考え方	1件
第2章 重点事業	
1 乳幼児と親の健康づくり	1件
2 児童・青年の健康づくり	0件
3 働く世代（成人）の健康づくり	0件
4 高齢者の健康づくり	3件
5 こころの健康づくり	2件
6 食育を推進する環境づくり	4件
第3章 事業編 体系図	0件
第4章 区の健康に関する現状	0件
第5章 資料	2件
計画全般、文章表現等	3件
合計	17件

複数の項目に係る意見については、若い番号の項目でカウントしています。

対応状況

	意見の趣旨を踏まえ、計画に反映するもの	5件
	計画に趣旨を記載しているもの	1件
	事業等において既の実施しているもの	0件
	事業実施等の際に検討するもの	3件
	趣旨を反映できないもの	2件
	その他、上記以外のもの	6件

No	分野	意見の概要	区の考え方	対応状況	関連ページ
1	区民へのメッセージ (導入部)	「健康だと笑顔がふえる気がする」という表現は、笑顔が健康のキーワードのようで良い表現だ。	「みんなが笑顔！」を計画のタイトルにも付しているところです。		表紙裏
2	計画の基本的な考え方	保健相談所は、こどもの健診のイメージしかありませんでしたが、全世代においての健康づくりの拠点であることが計画を読んでわかりました。保健相談所の役割をもっとPRすべきと思います。	保健相談所の役割等について、より積極的なPRに努めてまいります。		3
3	乳幼児 児童・青年	放射能の影響は、原発事故当時幼少であったり、事故後に生まれた、もしくはこれから生まれる子どもに強く影響が出ると聞いています。乳幼児・児童・青年の健康づくりの一環として、甲状腺癌検査の推進を望みます。	原発事故による甲状腺異常への影響は確認されておらず、また練馬区において特に高い放射線被ばくがあったとは考えにくいことから、現時点では甲状腺がん検査の推進は考えていません。		8～11
4	高齢者	高齢者のための小さな健康クラブを提案する。 組織は、65歳以上の日本人の男女。練馬区在住。中心となる主宰者一名、一グループ20人～25人、必ず医師が一名出席する。メンバー一人一人の関心事や今の課題を話すことで、自身の問題解決の糸口を見出そうとすることを目的とする。 場所は主として公共施設。目標規模は1千組(クラブ数)会員数2万人、主宰者数1000人、医師250人、例会は月1回他に他クラブとの交流会等がある。そして、主宰者はエンカレッジで1000人育成し、医師は練馬区医師会との連携事業とする。是非実現を期待している。	区では、練馬Enカレッジなど、区民の皆さまの地域活動を支援する取り組みを進めています。 ご提案の内容そのものを今回の計画に盛り込むことは難しいと考えています。		14
5	高齢者	食品衛生協会は、高齢者の健康づくりに協力していきたいと考えている。 組合の事業の一つである健康教室に「お口すっきり体操」講習を取り入れたい。	大変ありがたいお申し出であり、区としても協力、推進してまいります。		15

6	高齢者	誤嚥性肺炎防止の為、高齢者に対しての歯ブラシ指導の場が設けられないか。誤嚥性肺炎は要介護者等だけの問題ではなく、健康に見える高齢者でも起こり得る。	歯ブラシ指導については、口腔ケアの一環として取り組んでいるところであり、「4 高齢者の健康づくり」の「現状と課題」に書き加えます。	14,15
7	こころ	健康には、「食事・運動・睡眠」の3つが大切である。しかし、体調不良(いらいら・うつ病など)の原因になると言われている浅い眠りや短い睡眠が増えている。全世代に対し「よい眠り」について、今後、区として取り組んでほしい。	ご意見のとおり、良質な睡眠は健康の重要な要素であり、「5 こころの健康づくり」の「現状と課題」および「5年間の取組」に書き加えます。	16,17
8	こころ	「こころの健康づくり」の指標である、K6法による練馬区の数値が、何の調査によるものか明示してほしい。	練馬区の数値は、区の「健康実態調査」によるものです。P16の欄外に書き加えます。	16
9	食育全体	目標を達成するための事業展開が区の事業が主体になっている。NPOや地域団体との協働の仕組みづくりなど、区民が主体的に参加しやすい仕組みづくりを期待する。 また、グループや団体の情報交換や交流の場づくりなど、お互いの活動を活性化する仕組みづくりには区の支援が必要である。	計画の全体を通して、NPOや地域団体との協働を進めていきます。 ご意見の趣旨に沿った内容の事業を、「食育を推進する環境づくり」の「5年間の取組」の一つとして書き加えます。	18,19
10	食育	・食育を推進する環境づくりについて指標となる「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合」が、練馬区の調査では平成25年に50.0%となっており、国の「健康日本21(第2次)」の数値、平成23年68.1%に比し著しく低い。 (1) 区と国では調査の方法に違いがあるのか。 (2) 調査方法に違いがないとしたら、現状をどのように評価するのか。を明らかにした上で、国の目標値80%と大きくかい離れた区の目標値56.5%の妥当性を検証すべきと考える。	調査における文言は国と区に差異はありませんが、国が聞き取り調査であるのに対し区は調査票による調査として実施しています。国の数値68.1%は全国平均であり、同一調査における都区部は55.1%で、区の値に近い結果となっています。 しかしながら、低い現状があることを鑑み、国の目標が、23年度から34年度の11年間で11.9ポイントの引き上げを目指していることを踏まえ、区の目標を62%に変更します。	18
11	食育	素案の中で一番目に止まったのが「地域の大人との共食の機会を通じて」である。共食に限らず、地域活動の中で年齢に関わらず、会話ができる練馬社会を作ったら、そこに親も参加していれば学校における道徳の授業のような効果もあがるはずだ。 25年度現状と31年度目標が書かれているが、31年度目標から考えて今年度は何をすべきかという視点で行動を起こしてほしい。	ご意見のとおり、共食に限らず、様々な地域活動を推進していく中で、世代間交流を図っていきます。	18,19 11

12	食育	<p>食品衛生協会は、食育を推進する環境づくりに協力していきたいと考えている。</p> <p>組合加盟店の「食の安全、安心」の店をアピールのため、食とお酒についての講習会なども開催したい。また、商店を通じた食の提案や伝統野菜を活かした食育の推進、「ねりマルシェ」への参加、出張講習会の開催などを通じて、食育を推進する環境づくりに協力していきたいと考えている。</p>	<p>大変ありがたいお申し出であり、区としても協力、推進してまいります。</p>		19
13	資料	<p>資料の最後に、イメージマークと相談所一覧が記載され、便利で親しみやすく分かり易い。ただ、食育協力店マークの記載がない。P.19の重点事業に「表示方法工夫」と書いてあったが、今後、マークの件は検討されるということか。</p>	<p>健康づくり協力店のマークについては、よりわかりやすい表示となるよう検討を進めていく予定です。そのため、今回はイメージマーク一覧には掲載しませんでした。</p>		54,19
14	資料	<p>イメージマークとして、ピンクリボンを加えてほしい。</p>	<p>ピンクリボン(乳がん啓発のシンボルマーク)についても、イメージマーク一覧に加えます。</p>		54
15	全体	<p>全体として堅苦しくない柔らかな文章で書かれており、内容も分かりやすいと感じた。</p> <p>記載されている個々の事業が充実したものとなることを期待する。</p>	<p>大変ありがたいお言葉であり、区としても事業を着実に進めてまいります。</p>		
16	全体	<p>文章が簡潔で分かり易い。</p>			
17	全体	<p>本計画は、乳幼児から高齢者まで人々の生涯を通じて、健康づくりを進めていくための計画として、まず、目標を定め、次に重点事業を具体的に示しており、微に入り細に亘り綿密に作成されている。</p> <p>特に「こころの健康づくり」と「食育を推進する環境づくり」は、具体的な推進について困難な事が多いと考えるが、良く現状を把握し、5年後の目標を作られており、深く賛同する。</p> <p>私は区民として、計画の推進に微力だが全力を尽くしていきたいと考えている。</p>	<p>計画の推進に向けたご協力のご意向に感謝いたします。</p>		